



かつやまっこ すくすくビジョン

令和6年3月
勝山市



はじめに

全国的に少子高齢化が加速する中、勝山市でも、出生数の減少傾向が続き、令和5年度では、初めて100人を割る状況となっています。

このため、市は、令和5年4月に、こども課を市教育委員会に設置し、0歳から18歳までの切れ目のない子育て支援やより質の高い幼児教育・保育を提供する体制を整備しました。

こども課では、子育てに関する相談・申請窓口を一本化し、保健師、看護師、保育士等の専門職が妊婦や子育て世代に寄り添った相談を実施しています。また、就学前児童が切れ目なく必要なサポートが受けられるよう小学校と各園とのスムーズな接続や、小学校と児童センターとの連携を強化しています。子育て世代への経済的支援は、年々充実していますが、今後はさらに、保育料の完全無償化や0歳から18歳までの全世代を対象とした新しい給付制度を検討していきます。

この「かつやまっこ すくすくビジョン」は、勝山市と私立保育園、認定こども園、幼稚園、保護者等関係者が質の高い幼児教育・保育を実現していくうえで大切にしたいことを共有することを目的として、勝山市幼児教育推進委員会（園長部会）と共同で作成しました。市内の各園の理念・特色を尊重しつつ、どの園に入園しても共通の方針に沿って関係の皆さまとともに質の高い幼児教育・保育を推進していく内容としています。

乳幼児期は、こどもの生涯にわたる幸福（Well-being）の基礎を培う重要な時期であり、すべてのこどもが、個々の発達段階に応じて適切な幼児教育・保育を受けられることが大切です。市では、この「かつやまっこ すくすくビジョン」を活用し、引き続き、こどもたちが健やかで幸せに成長できるまち勝山を目指してまいりますので、保護者・関係者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

令和6年3月

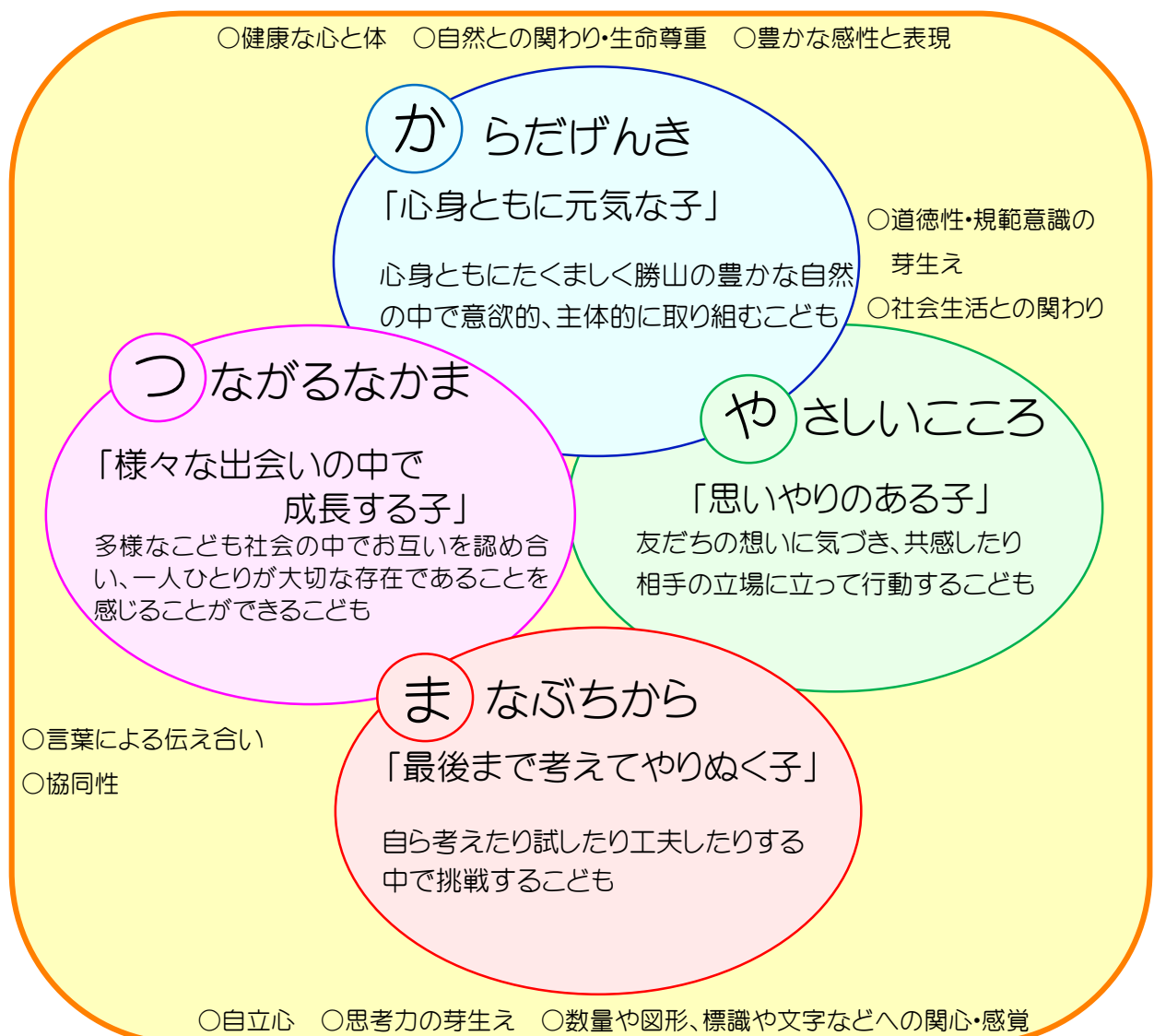
勝山市教育長 油谷 泉

『育もう！心豊かにたくましく生きる子』

～ **か**らだけんき **つ**ながるなかま
やさしいところ **ま**なぶちから～

育てたいこども像

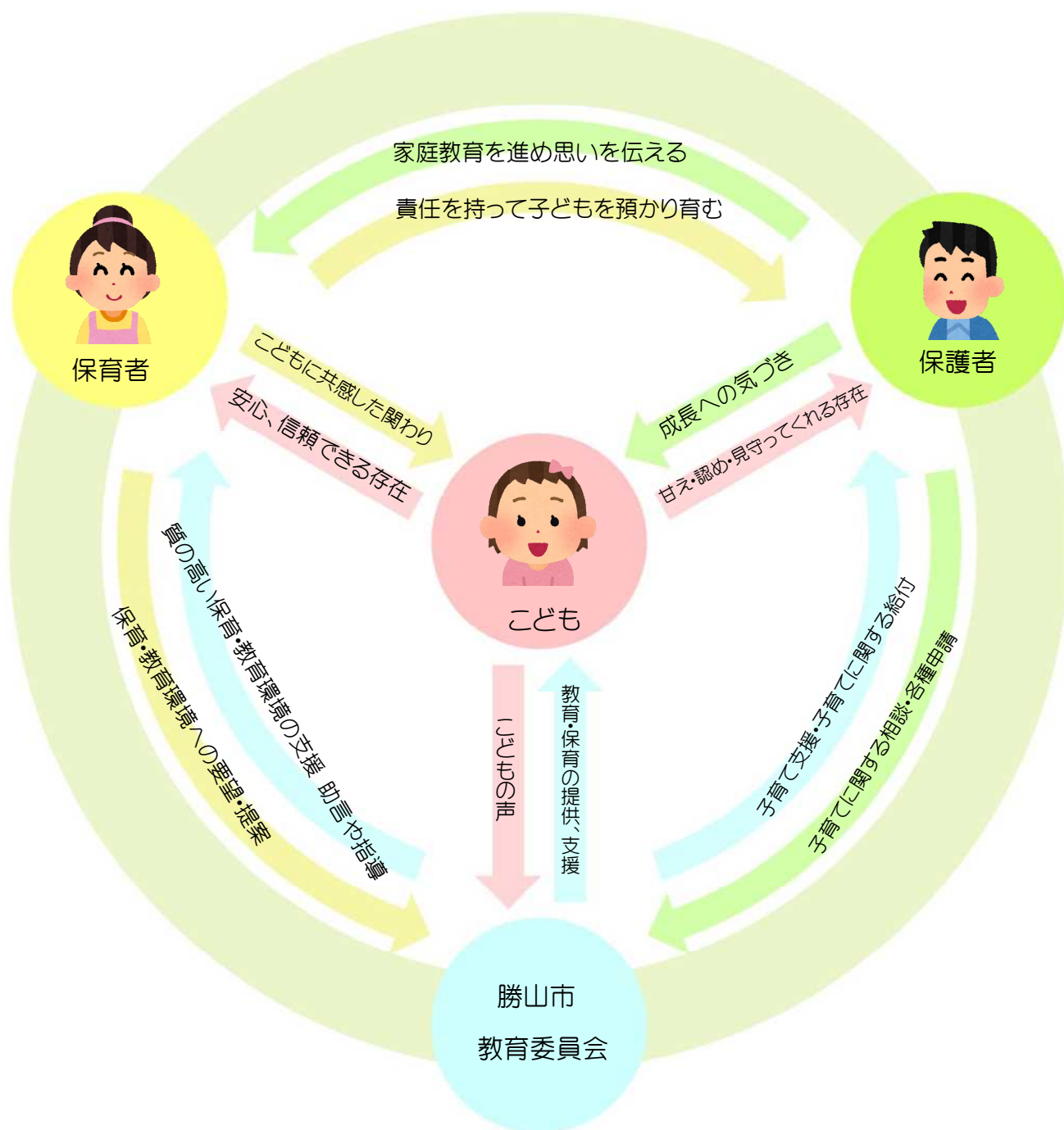
★育てたいこども像のイメージ★ *「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」との関連



* 平成30年4月に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領で新たに示されたねらい及び内容に基づいて、各幼児教育・保育施設で乳幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、教育・保育において育みたい資質・能力が育まれている園児の具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られるようになる姿をいう(図の○印)

共に育ち合う関係

こども一人ひとりの健やかな成長には、こどもが常に安心して過ごせる場や良好な親子関係が大切であると考えています。保育園・認定こども園・幼稚園は保護者の不安や悩みに寄り添い、保護者の子育てを支援し、「共に育ち合う関係」を大切にする幼児教育・保育に取り組みます。勝山市は保育園・認定こども園・幼稚園、保護者と共に、すべてのこどもが乳幼児期にふさわしい環境の中ですこやかな心と体の基盤が育まれるよう、見守り、支えることを大切にしていきます。

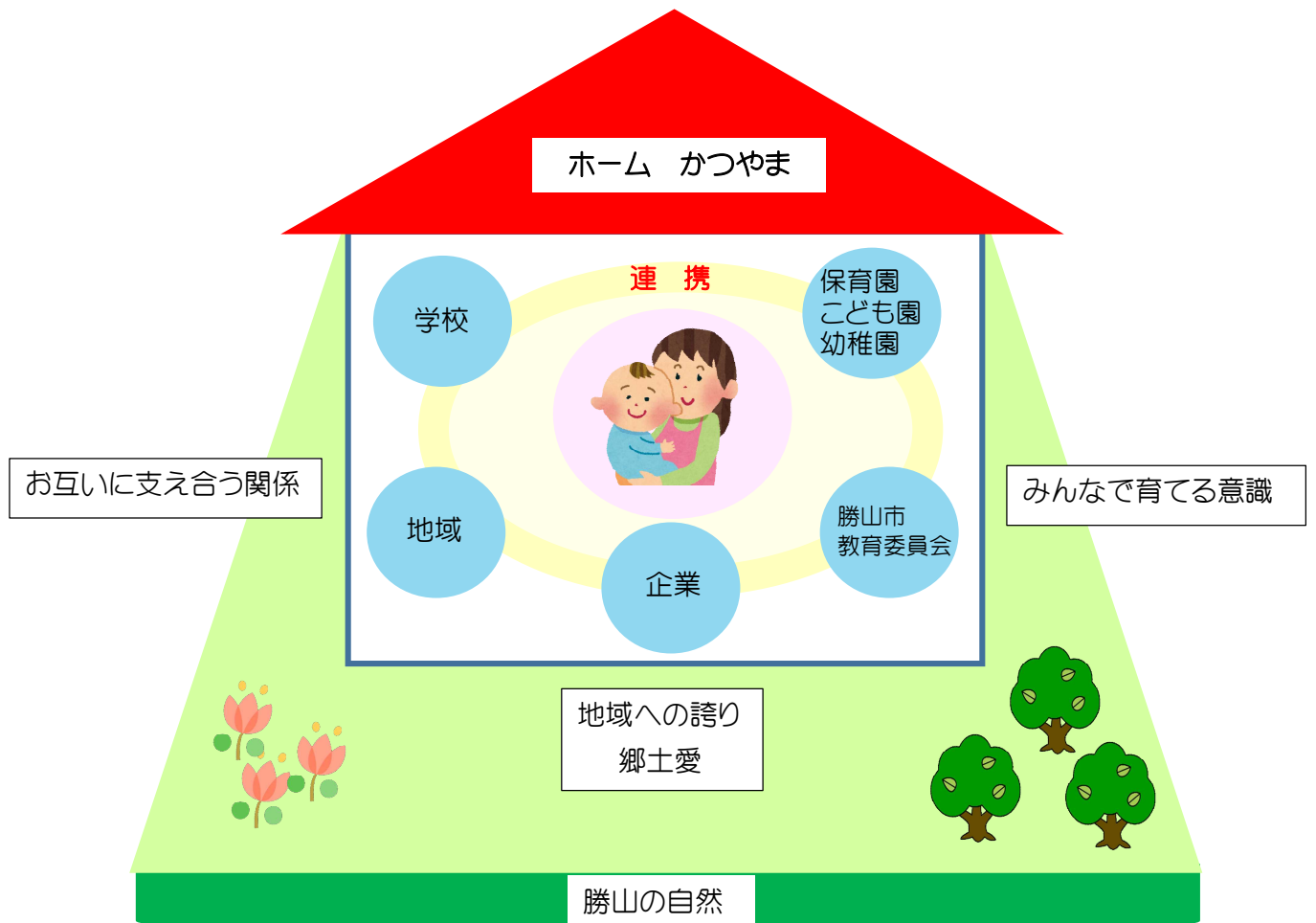


地域とのつながり

自然豊かな勝山市では子どもたちが、地域の自然、人材、伝統や文化等、地域行事への参加、交流を積極的に行えるよう、多様な体験活動を通して、自分が住む地域に対する誇りや郷土を愛する心を育みます。

保育園・認定こども園・幼稚園では

- * 園近くの公園であそんだり、園外保育を通して自然とふれあいます。
- * 地域のボランティアを通して、読み聞かせや左義長などの伝統文化にふれあいます。
- * 地域のお年寄りとの交流(昔のあそびの伝授など)や小学生、中学生とのふれあいを通して異年齢・異世代の人々との交流を行います。
- * 園開放で来園した未就園児と一緒にふれあうなど地域の子育てを支援します。



勝山市の主なこども施策について

妊娠・出産の支援

- 不妊治療の助成 (年齢・回数制限なし)
- 不育症治療助成 (令和6年4月～)
- 出産子育て応援金 妊娠、出産時に5万円を交付
- 妊産婦医療費無料
- 妊産婦にバス無料乗車券を交付
- にこにこ妊婦奨励金
福井勝山総合病院で妊婦健診を初回から受診し、出産支援連携体制により県内の病院で出産する場合に奨励金10万円を交付

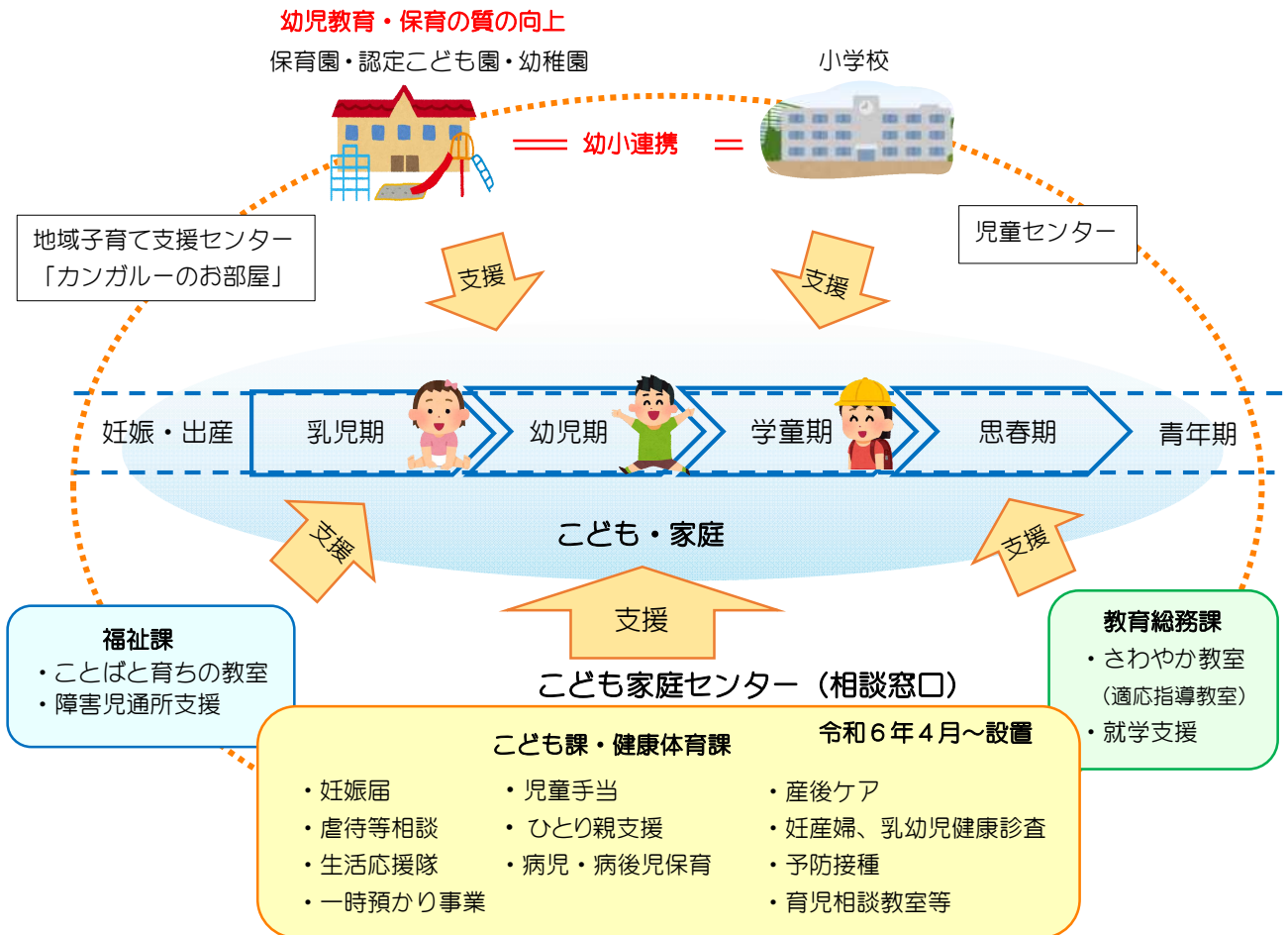
学童期の支援

- 児童センター利用料無料
小学1年生から6年生までの利用を希望する全ての児童の利用料が無料
土曜日や長期休業中は、希望に応じて、7時30分からの利用が可能
- 障がい児放課後支援
放課後や長期休暇中の奥越特別支援学校内の通所事業所の利用料が無料

育児支援

- 保育料の軽減
令和6年9月～保育料完全無償化を予定
- すくすく育成奨励金
第3子以降の出生時に奨励金20万円を交付
- インフルエンザ予防接種費用助成
小学生までは年2回、中学生は年1回まで、接種ごとに1,000円を助成
- 子ども医療費無料 (高校生まで)
- 児童手当、児童扶養手当

関係機関と連携した妊娠期から18歳までの切れ目のない支援



幼児教育・保育の充実・強化に向けて

かつやまっこすくすくビジョンを実現し、発展させていくために勝山市の保育園・認定こども園・幼稚園で安心して幼児教育・保育が受けられる環境を整え、市と保育園・認定こども園・幼稚園が連携・協力しながら幼児教育・保育の充実を強化していきます。



巡回相談

保育カウンセラーが保育園・認定こども園・幼稚園を巡回し保育士等の相談に応じたりカウンセリングを行っています。また、小学校への就学がスムーズに行えるよう、保育園・認定こども園・幼稚園の相談に応じています。

研修会

保育者はこどもの育ちを支える存在であり、こどもに大きな影響を与える重要な役割を担っています。保育者は常に資質や技能を磨きその専門性を向上させていくため、施設の枠を超えた保育の公開や保育者が意見交換や情報共有できる場を設けています。保育者相互が高め合っていけるよう市と関係施設等が連携・協力して取り組んでいます。

幼小接続

小学校との円滑な接続の推進を図るため、5歳児担任と1年生担任との意見交換会や小学校教諭の保育参観、情報共有に努めています。また、小学校区毎の連絡会議を実施し、お互いの教育・保育内容についての理解の促進を図っています。支援が必要なこどもに対しても必要なサポートが切れ目なく受けられるよう小学校と密接に連携、情報交換して進めていきます。園児と児童の交流も実施し、幼児期から切れ目のない教育を推進していきます。

市町幼児教育 アドバイザーの会

県が市町の保育現場で活躍できる幼児教育アドバイザーを育成し、小学校教諭の保育参観に同行し「遊びの中の学び」を伝えたり、若手保育士の育成や保育の質の向上のための研修会を実施しています。勝山市の保育者がお互いを高め合える場づくりに取り組みます。

幼児教育推進委員会

幼児教育推進委員会では園長部会・保育士部会にわかれ、幼児教育・保育について検討しています。園長部会では保・幼・小の情報交換や公開保育について、また保育士部会では学校区ごとの5歳児同士の交流保育の計画や情報交換等を行っています。就学に向けてスムーズな移行ができるよう話し合いの場を設けています。

国際交流活動

交際交流員が保育園・認定こども園・幼稚園などへ訪問し、英語にふれたり、多様な国籍の人と関わり文化を体験する機会を設け、広い視野と心を持つこどもの育成につなげていきます。

かつやまっこ すくすくビジョン



発行 勝山市 令和6年3月
〒911-0804 勝山市元町1丁目5番6号
TEL : 0779-88-8771 (勝山市教育委員会 こども課)
URL :

